

【令和5年度（150周年）】

学校経営ビジョン

三松っ子の幸せのために



学校教育目標の実現に向け、「対話」を軸に、「つながり」を大切にした教育活動を推進します。

- 1 夢の実現に向けて「対話」を軸に、協同・自立し、仲間とともに高め合う教育活動の推進
- 2 家庭・地域との「つながり」を大切にした地域コミュニティの核としての学校づくりの推進

ビジョン推進のキーワード

みんなで(協同)、まえへ(自立)、つながる(連携)コロナプラスの三松っ子に！

市教育委員会方針  
自立・感謝・貢献

学校の教育目標

学ぶ三松・鍛える三松・思いやりと誇りをもつ三松

新学習指導要領  
・主体的な学び  
・道徳の教科化

めざす児童像

- ・自ら学び考える子
- ・健康でたくましい子
- ・思いやりがありやりぬく子

めざす学校像

- ・喜んで登校する学校
- ・学力向上を実現する学校
- ・信頼される学校

めざす教師像

- ・質の高い教育を推進できる教師
- ・常に子どもに目が向いている教師
- ・学び合い、高め合う教師

授業力の向上

OJT

三松中学校と

使える学力

・伝え合う授業

活用

三松メソッド、3あい目標に沿った授業意識

学ぶ意義

・学びの原動力

夢

3あい目標(助け合い、教え合い、練り合い)

○子どものよさから

学習指導部

○ふるさとを生かすことで  
(人材・歴史・環境・自然)

生徒指導部

○子どもの未来へ

保健体育部

知

確かな学力

- ・課題解決型授業の実践
- ・個別指導の充実と家庭学習の推進
- ・基本的な学習習慣の定着

徳

豊かな心

- ・キャリア教育の充実
- ・いじめや不登校の早期発見と早期対応
- ・基本的な生活習慣の定着

体

健康・体力向上

- ・家庭と連携した健康教育の推進
- ・病気の予防と治療率の向上
- ・体力テスト分析と課題改善への取組の強化

食

望ましい食習慣

- ・「将来に向けての食習慣」を意識化
- ・キャリア教育と関連付けた食育
- ・食に対する感謝の心の育成

特別支援教育の充実（全ての教職員が取り組む特別支援教育）

コロナ  
プラス

保護者に愛される  
事務室経営

学年・学級経営

信頼される  
保健室経営

安心安全な  
ウィズコロナ

「てなんだ！メール」による情報発信と家庭・地域からの情報の受信

三松小学校全員で目指す合言葉

『Have to』から『Want to』へ



働く意味、学ぶ意味を対話により明確にし、『わくわく』が溢れる三松小を目指します！

# 令和5年度三松小学校経営ビジョン・重点取組事項

令和5年4月1日

## 学校経営ビジョン

- 『Have to』から『Want to』へ、働く・学ぶ意味を「対話」により明確にし、『わくわく』が溢れる三松小を目指します。
  - キャリア教育をベースにした児童の学びたい意欲の向上
    - ・ 何のために今の学習があるのか～学ぶ理由を探すキャリアパスポート
    - ・ ①目的+②目標設定+ふり返りの継続→自己効力感、自己肯定感の向上
  - 例：なでしこジャパン ①東日本大震災の復興・勇気づけ ②ワールドカップ優勝
- 学校教育目標の実現に向け、「対話」を軸に、「つながり」を大切にした教育活動を推進します。
  - ・ 『教師の教えた』が高まる『つないで 生かして 高める』授業力の向上
  - ・ 『児童の学びたい』が高まる『つないで 生かして 分かる』授業づくり
  - ・ 三松メソッド、3あい目標（助け合い、教え合い、練り合い）に則した授業実践
- 一人一人の夢の実現に向けて「対話」を軸に、「協同・自立」し、仲間とともに高め合う教育活動を推進します。
- 家庭・地域との「つながり」を大切にした「地域コミュニティの核」としての学校づくりを推進します。



※ 上記3の「対話」を軸に、「協同・自立」し、仲間とともに高め合い、成長した人材が地域の核として活躍するというイメージを共有しながら教育活動を推進する。

## 重点取組項目

| 目標  | 令和4年度の重点取組項目  | 共通実践   |
|---|---|--|
| <b>目標1</b><br>基礎・基本の確実な定着及び読解力・思考力・表現力等力の向上 | <b>授業力の向上</b><br>三松メソッド、3あい目標(助け合い、教え合い、練り合い)に則した授業         | タブレットの効果的活用や一人一授業公開  |
| <b>目標2</b><br>自他の存在、きまり、礼儀の尊重及び豊かな心の育成      | <b>基本的な生活習慣の定着</b><br>基本的な生活習慣(挨拶・返事、椅子や靴入れ、手洗いや消毒等)の定着100% | スクールワイドPBSの推進(学校全体で取り組むポジティブな行動支援。望ましい行動を教え、その行動ができた時に称賛する。) |
| <b>目標3</b><br>基礎体力の向上、食育推進及び望ましい健康生活習慣の定着   | <b>基礎体力及び運動能力の向上</b><br>・基礎体力の向上<br>・外遊びの推奨<br>・自力登校の啓発     | 体育授業での三松サーキット(準備運動)の共通実践                                     |

|                                   |   |   |
|-----------------------------------|---|---|
| <b>目標4</b><br>特別支援教育の充実           | <b>学校全体で取り組む支援体制「全ての教職員が取り組む特別支援教育」</b><br>三松小特別支援教育教職員の手引き(Ver. II)をもとにした特別支援教育の充実 | 特別支援教育を意識した指導・環境づくりチェックシートに基づいた共通実践           |
| <b>目標5</b><br>事務部の校務運営への参画及び教育支援  | <b>校務運営への参画</b><br>財務マネジメントの組織的实施   | 文書電子化で前年度決算額の印刷経費削減2割減                        |
| <b>目標6</b><br>量を減らして質を高める働き方改革の推進 | <b>家庭と協同した教育の推進</b><br>学校や家庭での生活・学習などについて、親子で話し合う「家庭の日」を設定                          | 児童の健全育成のための3つのお願い(早寝朝食、家庭学習、スマホのきまり)の文書配付(4月) |

## 目標1 基礎・基本の確実な定着及び読解力・思考力・表現力等力の向上

### 1 基礎・基本の定着

- ・ 基礎的、基本的な学習内容の定着→学級の実態に応じた「ぐんぐんタイム」の実施及び「ぐんぐんタイム」でのタブレットの効果的活用
- ・ 基本的な学習習慣（聴く、返事、鉛筆握り、立腰、1分前着席）の定着90%
- ・ CRT、みや学テ、全国学テに向けて習熟及び活用

### 2 読解力・思考力・表現力等の育成

- ・ 読解力・思考力・活用力育成→「ドリル国語」を活用した「ぐんぐんタイム」の共通実践
- ・ キャリア教育をベースにした児童の学びたい意欲の向上
- ・ 外部人材を活用した体験活動充実  
 ※ 学びたい度4月比 120以上（6年生）
- ・ 読書奨励（水曜日朝自習での読書や読み聞かせ）→図書貸し出し前年比100以上
- ・ 新聞作文コーナーへの積極的投稿→各学級1作品以上、昼の放送での児童作文発表

### 3 授業力の向上

- ・ 『教師の教えたい』が高まる『つないで 生かして 高める』授業力の向上
- ・ 『児童の学びたい』が高まる『つないで 生かして 分かる』授業づくり
- ・ 三松メソッド、3あい目標（助け合い、教え合い、練り合い）に則した授業実践

## 目標2 自他の存在、きまり、礼儀の尊重及び豊かな心の育成（令和4年度重点）

### 1 基本的な生活習慣の定着

- ・ 基本的な生活習慣（挨拶・返事、椅子や靴入れ、手洗いや消毒等）の定着100%

### 2 豊かな心の育成

- ・ みまつ会議を通じた自治的集団（学級）づくり
- ・ 「褒める、認める」を基本とした1単位時間内での全員への評価とフィードバック
- ・ 学級活動の活性化や道徳教育、人権教育の充実
- ・ ボランティア活動の励行→ボランティア活動実施70%以上

### 3 いじめや不登校の早期発見・早期対応

- ・ アンケートやQ Uに基づく教育相談や情報共有、積極的家庭訪問→不登校0、いじめ認知解消率100%
- ・ スマホ（SNS）の正しい使い方指導→外部講師招聘による高学年授業実施100%

## 目標3 基礎体力の向上、食育推進及び望ましい健康生活習慣の定着

### 1 基礎体力及び運動能力の向上

- ・ 基礎体力の向上→体育授業での三松サーキット（準備運動）による体力向上

### 2 保健指導の充実・病気の予防と治療率向上

- ・ 感染症対応 手洗い、マスク着用、ソーシャルディスタンスなど
- ・ 養護教諭との連携や個別指導の充実→う歯治療率90%
- ・ 全職員で協力したフッ化物洗口の実施

### 3 家庭と連携した基本的な生活習慣の定着及び食育の推進

- ・ 家庭と連携した早寝・早起き・朝ごはんの定着→朝ごはん摂取率100%
- ・ 給食感謝週間や「弁当の日」「食育の日」の実践→100%
- ・ 食事マナー向上、正しい箸の持ち方指導→正しい箸の持ち方90%
- ・ 学校栄養職員の活用→各学級での給食指導又はTT授業100%

## 目標4 特別支援教育の充実

### 1 学校全体で取り組む支援体制「全ての教職員が取り組む特別支援教育」

- ・ 「三松小特別支援教育教職員の手引き（Ver. II）」の活用
- ・ 支援レベルⅠ～Ⅳの段階的支援  
（担任→学年→校内→支援員配置、通級、学びの場の変更等）  
※ 支援レベルⅣの児童の「個別の教育支援計画」、「個別の指導計画」作成100%
- ・ 特別支援教育を意識した指導（活動のルーティン化や可視化、個性の理解など）  
※ 定期的に特別支援教育研修を実施し、指導力向上を図る。
- ・ 特別支援教育支援員と連携した支援  
※ 担任が作成する「個別の指導計画」を基にした綿密な打ち合わせ（6月、10月）

### 2 特別支援学級児童に係る交流学級と協同した支援

- ・ 特別支援学級担任が作成する「個別の指導計画」を基にした情報交換（随時）

### 3 就学指導の計画的実施

- ・ 「三松小特別支援教育リーフレット」の活用（令和4年度発行予定）
- ・ 保護者に寄り添った教育相談（必要に応じて、特別支援教育コーディネーターや管理職同席しての丁寧な対応）

## 目標5 事務部の校務運営への参画及び教育支援

### 1 校務運営への参画

- ・ 財務マネジメントの組織的实施（印刷経費削減→文書電子化で前年度決算額の2割減）
- ・ 学校の情報発信への取組（学校HPの情報更新）
- ・ 管理職・学級との連絡調整による各種連絡文書・たよりの電子化推進

### 2 教育支援への取組

- ・ 特別支援教育の充実（財務マネジメントでの検討→必須事項）
- ・ 就学援助制度利用への情報提供（事務室窓口での相談対応→随時）
- ・ 学校HPでのコンテンツ掲載→常時
- ・ 感染症、熱中症対応（財務マネジメントでの検討→必須事項）

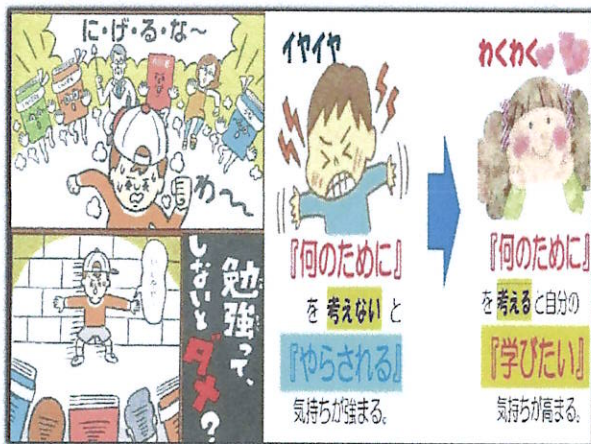
- 給食・食育の取組（献立紹介、毎月の給食便りの電子掲載、弁当の日実施紹介の掲載）
- 3 学校事務職員の新たな資質向上への取組
- 事務職員資質向上（校務運営参画と教育支援のあり方などの研修実施→5回以上）
  - 教育支援の具現化に向けた知見習得（研究授業等授業参観への参加→全回数の70%）

### 目標6 量を減らして質を高める働き方改革の推進

- 職員研修日の見直し
  - 水曜日に主題研修、タブレット研修、コスモス委員会、特別支援教育研修、職員会を位置づけ、放課後に余裕をもたせ、教材研究の充実を図る。
- 高学年での一部教科（国語、算数、外国語科）担任制の導入
  - 教材研究を集中して行い、授業力の向上に努める。
  - 他学級の児童の様子、学習状況を把握し、学年経営、生徒指導に活かす。
- 終礼の有効活用
  - 終礼は木曜日に実施。この他、連絡は日報やシーフォースも活用する。
- 家庭との協同した教育
  - 学校や家庭での生活・学習などについて、親子で話し合う「家庭の日」を設定し、保護者と学校とで同じベクトルで教育にあたる。（**自力登校の啓発**）
- 総合型校務システムの積極的活用
  - システムによる出席簿自動集計、システム内の時間割作成による授業時数集計等が可能となるため、積極的に活用する。

## 令和5年度 三松小学校経営ビジョン推進キーワード

『Have to』から『Want to』へ さあ歩こう！三松っ子！ 目指せ「あいさつ官」



『Have to』から『Want to』へ  
いやいや わくわく  
さあ歩こう！ みまつっ子！

①『学ぶ意味を考え、  
わくわく努力する』

②『よく歩く+よく遊ぶ』

**あいさつ官**

あんぜん いのち

目指せ！あいさつ官  
安全・命を守る  
のは警察官と同じ！

なんのために